



福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<6/6>

参考値

(データ集約 : 7/25)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年7月19日 13時03分	平成24年7月20日 13時19分	平成24年7月19日 13時13分	平成24年7月20日 13時28分	平成24年7月19日 12時57分	平成24年7月20日 13時08分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	5.6E-07	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	8.1E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.0E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 本分析前後に燃料を取り扱っていない期間に実施した結果は以下の通り。

- ・ 機器ハッチ近傍 : 平成24年7月17日13時07分～平成24年7月18日13時28分 I-131:ND、Cs-134:1.5E-7Bq/cm³、Cs-137:2.3E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時33分～平成24年7月19日12時59分 I-131:ND、Cs-134:6.6E-8Bq/cm³、Cs-137:1.4E-7Bq/cm³。
平成24年7月20日13時27分～平成24年7月21日13時41分 I-131:ND、Cs-134:2.2E-7Bq/cm³、Cs-137:4.3E-7Bq/cm³。
- ・ 南側階段前 : 平成24年7月17日13時12分～平成24年7月18日13時35分 I-131:ND、Cs-134:1.5E-7Bq/cm³、Cs-137:2.3E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時40分～平成24年7月19日13時08分 I-131:ND、Cs-134:6.7E-8Bq/cm³、Cs-137:7.3E-8Bq/cm³。
平成24年7月20日13時33分～平成24年7月21日13時37分 I-131:ND、Cs-134:1.3E-7Bq/cm³、Cs-137:1.9E-7Bq/cm³。
- ・ 北側階段前 : 平成24年7月17日13時01分～平成24年7月18日13時20分 I-131:ND、Cs-134:4.7E-7Bq/cm³、Cs-137:7.5E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時26分～平成24年7月19日12時52分 I-131:ND、Cs-134:1.3E-7Bq/cm³、Cs-137:2.1E-7Bq/cm³。
平成24年7月20日13時15分～平成24年7月21日13時32分 I-131:ND、Cs-134:3.8E-7Bq/cm³、Cs-137:6.0E-7Bq/cm³。

I-131の検出限界値は揮発性が約5E-8Bq/cm³、粒子状が約4E-8Bq/cm³

※7月25日公表の運用補助共用施設3階(機器ハッチ近傍・南側階段前)の試料採取日時刻が誤っておりました。お詫びして訂正させていただきます。

<訂正前 (採取場所/試料採取日時刻)>

・運用補助共用施設3階(機器ハッチ近傍)/平成24年7月19日13時03分～平成24年7月20日13時28分

・運用補助共用施設3階(南側階段前)/平成24年7月19日13時13分～平成24年7月20日13時19分

<訂正後 (採取場所/試料採取日時刻)>

・運用補助共用施設3階(機器ハッチ近傍)/平成24年7月19日13時03分～平成24年7月20日13時19分

・運用補助共用施設3階(南側階段前)/平成24年7月19日13時13分～平成24年7月20日13時28分



採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年7月19日 13時03分	平成24年7月20日 13時28分	平成24年7月19日 13時13分	平成24年7月20日 13時19分	平成24年7月19日 12時57分	平成24年7月20日 13時08分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	5.6E-07	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	8.1E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 本分析前後に燃料を取り扱っていない期間に実施した結果は以下の通り。

- ・ 機器ハッチ近傍 : 平成24年7月17日13時07分～平成24年7月18日13時28分 I-131:ND、Cs-134:1.5E-7Bq/cm³、Cs-137:2.3E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時33分～平成24年7月19日12時59分 I-131:ND、Cs-134:6.6E-8Bq/cm³、Cs-137:1.4E-7Bq/cm³。
平成24年7月20日13時27分～平成24年7月21日13時41分 I-131:ND、Cs-134:2.2E-7Bq/cm³、Cs-137:4.3E-7Bq/cm³。
- ・ 南側階段前 : 平成24年7月17日13時12分～平成24年7月18日13時35分 I-131:ND、Cs-134:1.5E-7Bq/cm³、Cs-137:2.3E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時40分～平成24年7月19日13時08分 I-131:ND、Cs-134:6.7E-8Bq/cm³、Cs-137:7.3E-8Bq/cm³。
平成24年7月20日13時33分～平成24年7月21日13時37分 I-131:ND、Cs-134:1.3E-7Bq/cm³、Cs-137:1.9E-7Bq/cm³。
- ・ 北側階段前 : 平成24年7月17日13時01分～平成24年7月18日13時20分 I-131:ND、Cs-134:4.7E-7Bq/cm³、Cs-137:7.5E-7Bq/cm³。
平成24年7月18日13時26分～平成24年7月19日12時52分 I-131:ND、Cs-134:1.3E-7Bq/cm³、Cs-137:2.1E-7Bq/cm³。
平成24年7月20日13時15分～平成24年7月21日13時32分 I-131:ND、Cs-134:3.8E-7Bq/cm³、Cs-137:6.0E-7Bq/cm³。

I-131の検出限界値は揮発性が約5E-8Bq/cm³、粒子状が約4E-8Bq/cm³